

## 〈令和2年度〉ミライカナエル活動サポート事業 スタート支援コース

<b>団体名</b>	SASP (Sustainable Arts & Sports Project)
<b>事業名</b>	子どもミュージカル上演の為のワークショップ
<b>補助金額</b>	100,000円(コース枠)
<b>事業の目的</b>	
<p>子どもたちに向けて、歌やダンスを楽しむ機会を提供することで、前向きな気持ちや自信を持ってもらいたいです。また、そんな子どもたちの姿を見た保護者や地域の方々に、文化・芸術の力を実感してもらい、文化・芸術がより重要視される社会を築きたいと思います。そして、最終的には表現を通じてコミュニケーション能力や独創性を重視するマインドを養った子どもたちによって、社会全体が多様性を受け入れ、いじめや差別のない豊かな社会になって行くことを望みます。</p>	
<b>事業の内容と成果・効果</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワークショップ、オンラインコンサート (2021年2月) 主に小学生を対象に募集をかけ、応募された11人に対し、4回のワークショップを行い、成果披露の場としてオンラインコンサートを企画し、一緒に出演しました。ワークショップでは滑舌、歌、ダンスの練習を1回3時間にわたって行い、最終的には一人ひとりソロで歌う経験もしてもらうことができました。 2021年2月：ワークショップ 全4回 参加者11人 2021年2月23日：オンラインコンサート YouTube再生回数1,238回(6月20日現在)</li> <li>• ワークショップ (2021年5月) 引き続きやってほしいという参加者の声を受け、2.5時間のワークショップを4回行いました。参加者には、SASPが出る予定であった藤沢ビッグウェーブのイベントと一緒に参加してもらいました。 2021年5月：ワークショップ 全4回 参加者14人</li> </ul>	
<p>〈成果・効果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ワークショップやコンサートに参加したキッズ達も、歌やダンスを通して、技術や感性を養うことができたのはもちろんの事、物事に真摯に向き合った経験ができたのではないかと思います。発表ではしっかりとソロを歌うことで、実際に自分に自信を持つ事ができたように感じました。ワークショップでのコミュニケーションの中で、いじめなど、家庭や学校ではカバーできなかった心の問題にも対処することができ、やはり文化・芸術には力があると感じています。</li> </ul>	
	
<p>歌・ダンス・滑舌のワークショップを実施。成果披露としてオンラインコンサートを開催した</p>	
<b>事業を実施しての課題</b>	
<p>参加者や保護者から、さらに技術を高めたい、もっとイベントに出演したいという要望をいただきましたが、メンバーが学生であり、芸能活動もしているため、事務作業の部分が非常に課題です。事務局が一人の状態であり、連絡のやり取りから発表の場づくりまでを行うのは厳しかったです。さまざまな方(プロや業界人が望ましい)に関わってもらう必要がありますが、その費用の捻出についてを今後考えたいです。</p>	